時間帯における児童生徒・教職員の基本対応フロー

③弾道ミサイル発射時の基本対応（校外活動時）

状況および対応	管理職・教職員・児童生徒が取るべき行動		
	管理職等学校待機職員	引率教職員	児童生徒
≪Jアラート≫ 弾道ミサイル発射情報・避難の呼びかけ	ミサイル発射。ミサイル発射。●●からミサイルが発射されたものとみられます。建物の中または地下に避難してください。		
◆避難行動 「日本の上空を通過」または「日本の領海外海域に落下」の場合	校内端末・屋外スピーカー、スマートフォン等でJアラートによる情報を受信したら、速やかに校内放送で**◆避難行動**の指示を行う。 班活動など教職員がそばにいない際の**◆避難行動**や連絡手段について、児童生徒に指導しておくことが必要です。	◆ 避 難 行 動 **【屋外にいる場合】** ○建物や地下があれば直ちにそちらへ避難する。 ○建物まで遠い場合は、物陰に身を隠すか、その場で地面に伏せて、かばん等で頭部を守る。	**【屋内にいる場合】** ○窓のない部屋があれば移動する。 ○窓があれば、窓やカーテンを閉め、できるだけ窓から離れる。換気扇を止め、床に伏せて頭部を守る。 ○机がある場合は、脚部を押さえ、爆風やガラスの破片から体を守る。
≪Jアラート≫ 直ちに避難の呼びかけ	直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、または地下に避難してください。ミサイルが落下するものとみられます。直ちに避難してください。		
◆避難行動の継続	Jアラートによる情報を受信したら、速やかに校内放送で**◆避難行動の継続**の指示を行う。	◆ 避 難 行 動 の 継 続	
≪Jアラート≫ 落下場所等についての情報	ミサイル落下。ミサイル落下。ミサイルが●●地方に落下したものとみられます。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難してください。		
屋内避難の継続	落下場所等の情報を受信したら、速やかに校内放送で、追加情報の伝達まで**屋内避難の継続**の指示を行う。 テレビ、ラジオ、インターネット等で情報収集を行う。 報告	○屋外にいる場合は最寄りの建物への避難を指示する。屋内にいる場合は引き続き屋内避難の継続を指示する。 ○児童生徒の安否確認を行い、学校（管理職）へ状況を電話報告する。 安否確認	**【屋外にいる場合】** ○口と鼻をハンカチで覆いながら、最寄りの建物に移動する。 **【屋内にいる場合】** ○開いている窓があれば閉め、待機する。 ○換気扇を止め、できるだけ窓から離れる。 ※教職員から離れている場合は、できればスマートフォンを持つ人やテレビの近くで待機し、追加情報を待つ。
≪Jアラート≫ 追加情報	※「屋内避難の解除」「引き続き屋内避難の継続」等の情報が伝えられます。		
≪Jアラート≫ ミサイル通過情報または落下場所等の情報	Jアラートによる情報を受信したら、速やかに校内放送で**「屋内避難の解除」「引き続き屋内避難の継続」**の指示を行う。 その他、引率教職員と連絡を取り合い、必要な指示を行う。 報告 指示	児童生徒の**点呼**を行い**安否を確認**し、**管理職へ報告**する。以後管理職の指示に従う。 不審な物を発見したら、決して近寄らず、直ちに警察や消防等に連絡することを指導する。 指示	離れている児童生徒は教職員のもとへ移動する。以後、教職員の指示に従って行動する。